

2024年第32週
2024/8/5～8/11

北区感染症週報

■東京都感染症週報

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/weekly/>

■国立感染症研究所感染症週報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

- ・手足口病の東京都の定点当たり報告数は、7.71で**警報レベルが続いています**。
- ・新型コロナウイルス感染症の東京都の定点当たり報告数は、5.49で前週より減少しています。
- ・マイコプラズマ肺炎の東京都の定点当たり報告数は、2.12で今後の動向に注意が必要です。

全数報告対象疾患

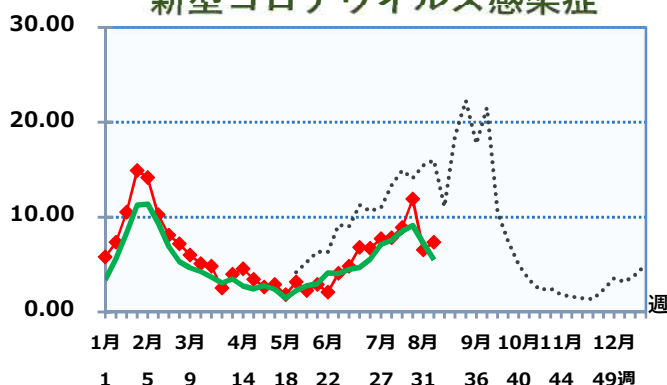
- （四類）レジオネラ症 1件 患者、病型は肺炎型、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明
- （五類）侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件 血清型は未実施2件、年齢は50代1件、80代1件、推定感染地は 国内2件、推定感染経路は不明2件、ヒブワクチン接種歴は不明2件
- （五類）カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 病原菌はKlebsiella.pneumoniae、年齢は80代、推定感染地は 国内、推定感染経路は医療器具関連感染（尿路カテーテル）
- （五類）梅毒 患者2件（早期顕症梅毒Ⅰ期2件）、無症候梅毒1件、性別は男性2件、女性1件、年齢は20代1件、30代2件、推定感染地は国内3件、推定感染経路は性的接触（異性間）2件、性的接触（同性間）1件

定点把握対象疾患

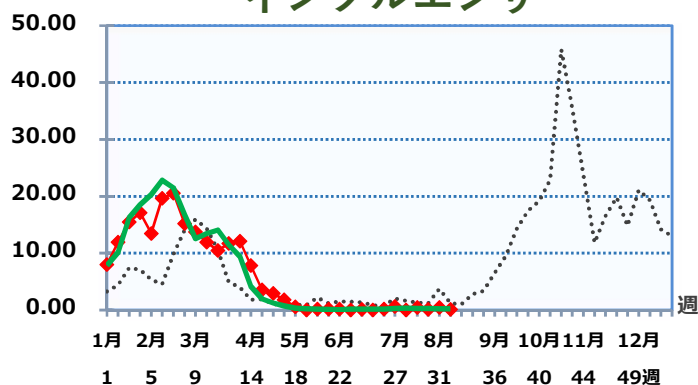
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
—◆— 2024北区
— 2024東京都

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ



Topics

咽頭結膜熱が流行する季節です <②感染対策について>

咽頭結膜熱の感染予防には、原因となるアデノウイルスを周囲に広めないことが大切です。

<ポイント>

- **こまめな手洗い**が重要です。

ウイルスは症状が治まった後でも1か月程度、便の中に排出されるといわれています。特にトイレやおむつ交換の後は、石鹸と流水でしっかり手洗いをしましょう。手洗い後は使い捨てのペーパータオルなどで水分を拭きとりましょう。

- プールや温泉では利用前後にシャワーを浴びて清潔にし、タオルの共用は避けましょう。

- アデノウイルスは熱に弱いため、使用したタオル、衣類などは**煮沸消毒**（100℃のお湯で5秒間、56℃のお湯で5分間）が有効です。

- アデノウイルスは消毒用アルコールが効きにくいので、ドアノブや手すり、おもちゃなどよく触れる部分は**0.02%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液で消毒**しましょう。

*次亜塩素酸ナトリウムは直接手指消毒には使用しないように、手袋などを着用して使用しましょう。

- 手などを介して感染が広がらないように、咳やくしゃみをする時は、口、鼻をマスク、ハンカチ、ティッシュ、上着の内側や袖で覆いましょう（**咳エチケット**）。**手洗い**も忘れずに！

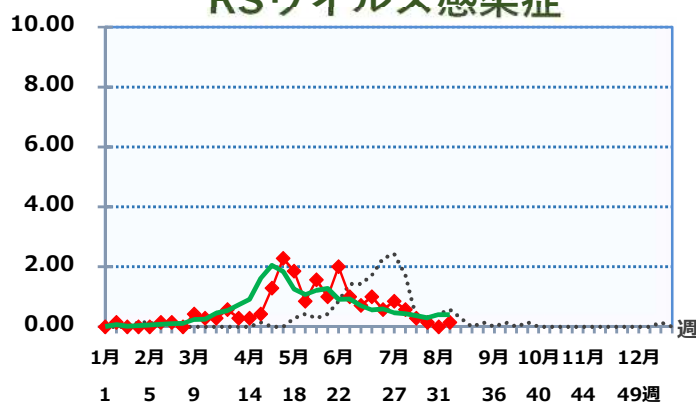
- 学校保健安全法施行規則では主要症状（発熱、喉の痛み、目の充血など）が消退した後2日を経過するまで出席停止期間となっています。登園、登校についてはかかりつけ医に相談しましょう。

定点把握対象疾患

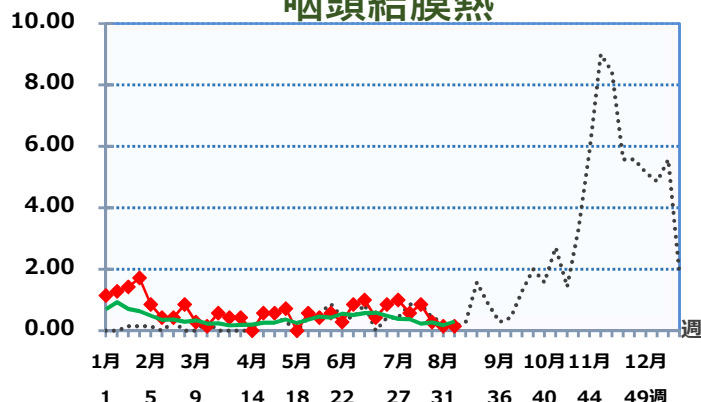
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
—◆— 2024北区
— 2024東京都

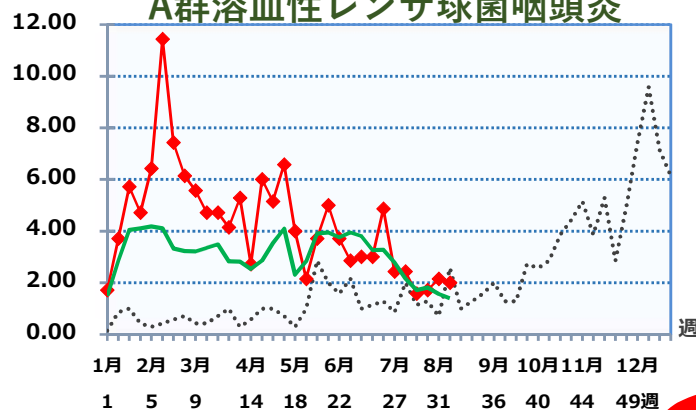
RSウイルス感染症



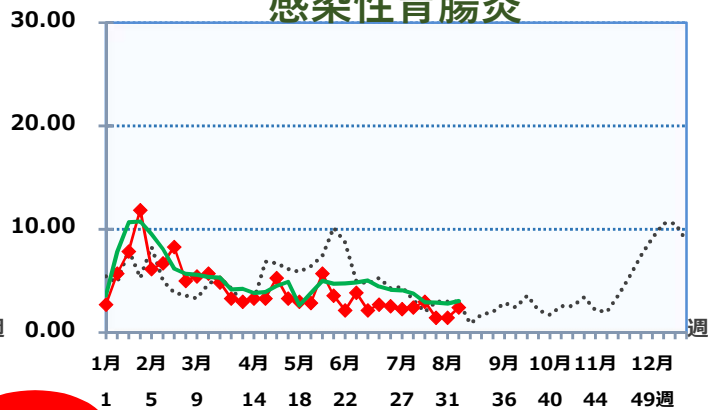
咽頭結膜熱



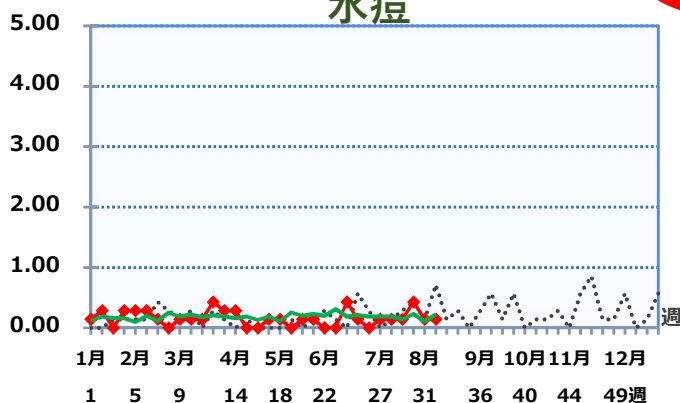
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



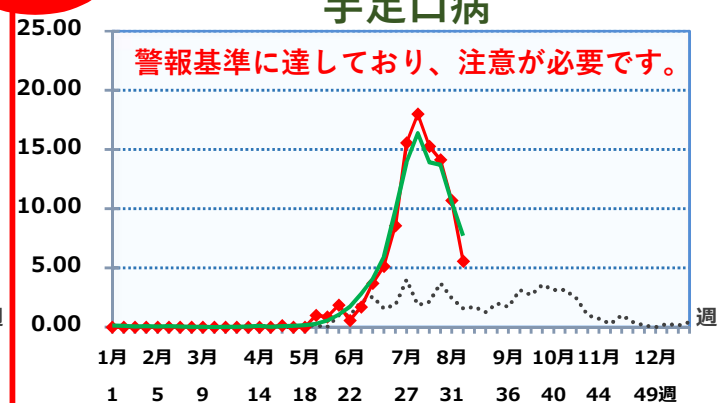
水痘



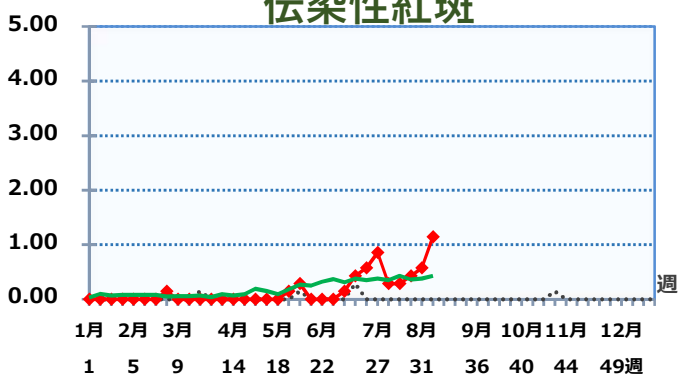
警報

手足口病

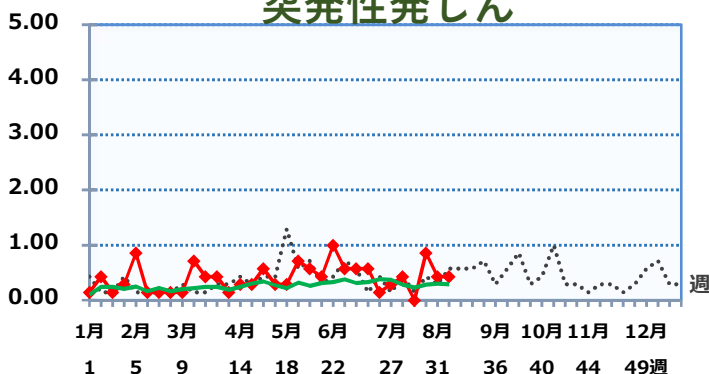
警報基準に達しており、注意が必要です。



伝染性紅斑



突発性発しん

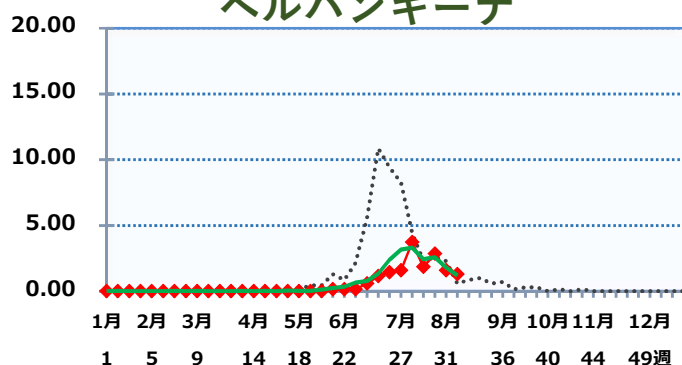


定点把握対象疾患

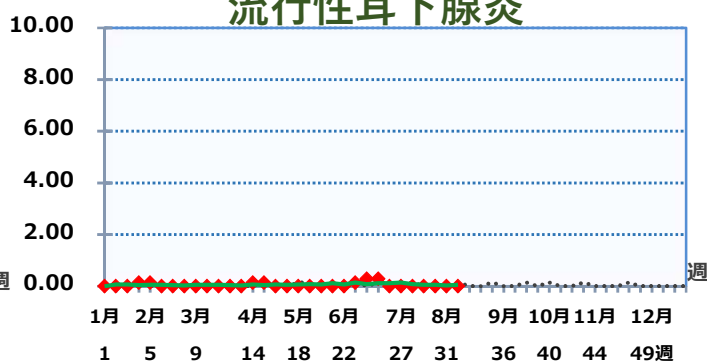
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
 ◆ 2024北区
 — 2024東京都

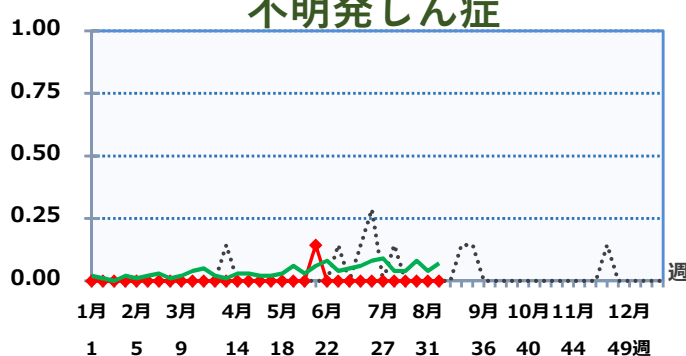
ヘルパンギーナ



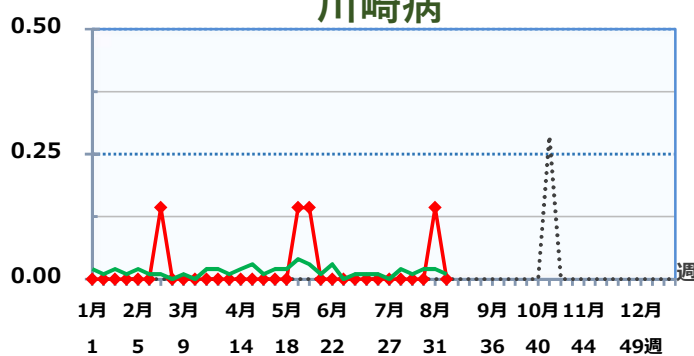
流行性耳下腺炎



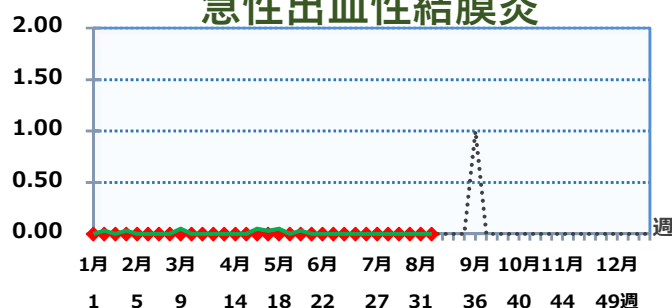
不明発しん症



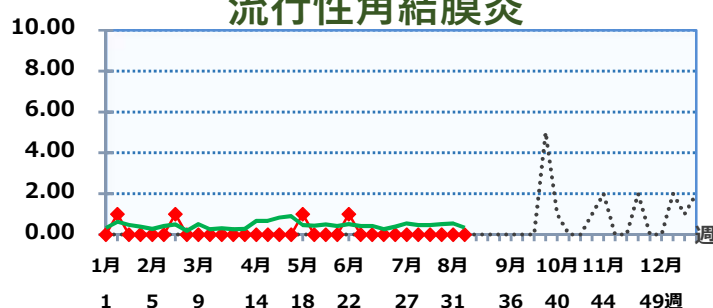
川崎病



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



性感染症 (2024年7月分まで) ※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2024年8月分は2024年第36週号にて掲載予定です。

